

## 「夏季休業に向けて」

校長 松田 圭 右

保護者並びに地域の皆様方には、本校の教育活動にご理解、ご協力そしてひとかたならぬご支援いただいておりますことに心より感謝申し上げます。一ヶ月遅れとなりました保護者懇談会にはコロナ禍の中多くのご参加を頂き有り難うございました。

6月より再開した学校生活は、マスク、手洗いはもとより「新しい生活様式」など不自由な中で、生徒達は学習活動、制作活動に励んでおります。高校入試範囲の制限や大学入試日程など、報道等で注目されている緊急事態宣言による学習の遅れについては、本校では夏・秋休みの短縮等により年度内には解消予定です。しかしながら、3年生の見学旅行、1年生の宿泊研修の中止、毎年多くの保護者の皆様に来校頂いていた学校祭の延期・規模縮小をせざるを得ない事態になりました。多くの行事を失い、生徒達は学習中心の学校生活となってしまい、我々職員も申し訳ない気持ちでいっぱいです。

さて、夏休みを迎えるに当たり、保護者の皆様、生徒諸君にいくつかのお願いがございます。現在、緊急事態宣言が明けてから、全国的にコロナ感染も落ち着きを見せておりましたが、7月に入り首都圏では第二波の流行の兆しもあり、大都市においてもゼロにはならない状態です。生徒諸君には油断することなく、せっかく身についた「新しい生活様式」を休み中にも維持して頂きたい。保護者の皆様におかれましては生徒の感染予防と、健康管理についてご協力をお願い致します。

次に、今年度は新しい大学入試制度元年の年であります。進学希望の生徒にとっては志望先の入試情報、傾向分析などの情報が乏しく大きな変化です。また、就職希望の生徒にとっても経済的不安定により就職事情は厳しいことが予想されます。3年生にはできる限りの情報提供と指導助言をして行きますので進路目標に向かい努力を惜しまないで頂きたい。また、保護者の皆様におかれましては生徒の夢の実現へ、ご支援ご協力をお願い致します。

1、2年生には夏休みは、とても重要な期間です。将来について考え、しっかりと将来の目標を立て、夢の実現に努力する時間として頂きたい。保護者の皆様におかれましては、生徒達の意志決定へのお力添えをお願い致します。

続いて、緊急事態宣言のため本校生の作品展示会「木の手づくり展」の開催時期が遅れ、旭川市では8月1日・2日に旭川デザインギャラリーにて、札幌市は8月9日・10日に札幌市民交流プラザにて開催いたします。今年は生徒のお手伝いはお願いできませんが、卒業生や在校生の作品を見て頂ける機会ですので、保護者のご来場、そして、お手伝いをどうぞ宜しくお願い致します。

最後となりましたが、我々教職員も生徒一人ひとりの夢の実現にむけて確かな力をつけるべく情熱をもって取り組んでおります。今後とも、本校の取組に対しまして、皆様方のご理解と、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

## 1学年担任より 杉浦 誠 耶

学校が再開してから約2か月、授業や単元テストの連続で大変な思いをしたと思いますが、気が緩むことなく学校生活を過ごすことができ、現在は音威子府での生活や学校生活にも慣れ、夏休み明けに行われる学校祭に向けて取り組んでいる最中になります。この夏休みは、学校祭に向けてのアイデアを練ったり、自分の進路に向けて考えたり、目標を決めて日々を過ごしてほしいと思います。

また、新しい生活様式が始まり、慣れない生活の中で疲労やストレスなどが溜まっているかと思えます。この2か月の間にあった出来事、思ったことを親御さんに話すと思えますので、温かく聞いてあげてください。そしてリフレッシュした状態で、元気に音威子府に帰ってくることを願っています。

## 2学年担任より 近江 建 心

新型コロナウイルスの影響により、約2か月の休学期間を経て再開した学校生活。様々な制約があるなかでの「新しい生活様式」への順応は、時に、ストレスが溜まることもあったかと思えます。その中で生徒達は、自らのすべきこと、いまの状況下でできることを見極め、日々を充実させていました。

例年よりも短い夏休みとはなりますが、まずは「新しい生活様式」での2ヶ月を乗り越えた自身の体を労り、心身ともに充実した状態で音威子府に帰ってきてほしいと思います。

高校2年生の夏休みは、オープンキャンパスや、学校見学に積極的に参加してもらいたい時期ですが、新型コロナウイルスの影響で実施や参加が難しいのが現状です。道外の学校であれば尚更です。しかし、代わりにオンラインでの学校説明会やオープンキャンパスを実施している学校も数多くあります。情報の収集は進路活動の基本です。アンテナを張り巡らせ、自分の将来と向き合ひましょう。逆境を力に！

## 3学年担任より 須藤 由 希子

3学年担任 須藤 由希子  
3年生にとっては最後の高校生活です。残念ながら新型コロナウイルスの影響で、大事なスタートの時期に辛い思いをさせていただきました。しかし最高学年として後輩をサポートする姿、自分が辛い状況でも頑張ろうという姿勢、授業の取り組みや部活動での制作活動、進路に向けた準備など、いろいろな場面で3年生の成長を感じる日々です。限られた時間の中で、物事の優先順位を確認しながら、見通しを持ち、計画的に卒業に向けた準備が今後も必要とされます。この辛い時期をばねにしてさらに飛躍して欲しいと思います。

夏休みに入ると三者懇談、就職組の希望先の決定、AO エントリーや学校見学、進学相談など様々な動きがあります。ゆっくり休んでいる暇はないかもしれませんが、一呼吸をし、落ち着いて出願に必要な情報、書類などの確認をしましょう。期間ぎりぎりになって焦ってしまわないように準備をしてください。

10月には皆さんが楽しみにしている最後の学校祭があります。今年は残念ながら1日の開催となりますが、皆さんの最後の熱い思いを、成長したそれぞれの創造力を、おもいきりぶつけてほしいと思います。また、卒業制作も佳境に入りますね。3年間の集大成にするためにも毎時間の制作を大事にしてください。そして残りの学校生活を悔いのないよう、思いっきり元氣よく、一緒に頑張っていきましょう！

## できごと

### 《高大連携授業（1・3年）》



6月11日に東海大学の 中尾紀行教授に来校していただき、1年生は木のおもちゃについて、3年生は卒業制作に向けてのポートフォリオ作成について講義を受講しました。感染症予防のため体育館での実施となりました。普段の授業とは違う、より専門的な講義を聞く事ができ、今後に向けて意欲も高まりました。秋には2年生がデザインスクールの内容の講義を本校で受講する予定となっております。



### 《寮レク（2・3年）》



7月11日に2年生が旭山動物園と本来はデザインスクールで行く予定となっていた旭川デザインセンター、18日には3年生が旭川のラウンド

ワンに行きました。様々な行事が中止となる中での久しぶりの校外で行う行事でした。どちらの学年も笑顔で楽しく過ごしていました。1年生は9月に実施の予定です。



### 《美術系進路ガイダンス(1・2年)》



7月16日(木)、1・2年生を対象に美術系進路ガイダンスを実施しました。札幌武蔵野美術学院の先生方に来校していただき、美術に関わる適性診断や進学についてのお話をいただきました。放課後の個別相談では、生徒たちはそれぞれの作品を持参して制作のアドバイスを受たり、参考作品等を鑑賞したりしました。今後の進路活動に活かしてほしいと思います。

## 行事

- 8月 8日～10日 木の手づくり展札幌 於：札幌市民交流プラザ
- 12日～14日 学校閉庁日
- 17日 全校集会
- 20日 第2回漢字検定
- 26日～28日 前期末考査
- 9月 5日 寮レク(1年：名寄)
- 9月中 強歩記録会
- 10月 2日 前期終業
- 5日 後期始業式

**子ども相談支援センター**  
**相談窓口のお知らせ**

いじめや登校、休学などの学習意欲に関する悩み、子育て・しつけなど  
家庭教育に関する悩みなど相談してください。

---

●電話相談  
☎ 0120-3882-56  
(無料、毎日24時間対応)

---

●メール相談  
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp  
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

---

●来所相談  
(10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)  
子ども相談支援センター  
札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階  
※上記の電話番号で予約してください。

---

センターのWebページに「子ども相談支援センターへの相談例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。  
URL <http://www.dokyoji.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>